

令和元年度 山都町社会福祉協議会 事業実施報告書

【総論】

社会福祉法改正後最初の理事改選となり、6月6日の評議員会後同日に開催された理事会において、会長、副会長の互選があり新たな執行部体制で運営が始まった。新理事には事業運営並びに法人運営の担当を担っていただき、理事研修会をはじめ積極的に社協運営に携わっていただいた。

地域福祉活動においては、当社協の基盤組織である30地区福祉会を中心に、会長研修や各地区の福祉委員研修、地区別福祉懇談会を開催し、日頃行っている集まりや活動が、地域の支え合い活動になっていることを地域の方々と共有し、地域福祉の啓発に努めた。また、町内の社会福祉法人との連携会議や、ボランティア団体との連携、町と共同で開催した福祉まつりなど関係機関との連携強化を図った。

在宅福祉事業においては、介護保険事業の経営並びに生活支援体制整備事業や生きがいと健康づくり事業等の受託事業を実施し、高齢者が生き生きと暮らせる地域づくりの取り組みの推進を行った。

国においては、地域共生社会の実現に向け、断らない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施するための事業を創設するなど、地域における包括的な体制の整備が進められている。このことを踏まえ、町と共同で相互に連携して地域での支え合いを推進するための5カ年計画、地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定した。少子高齢化が進む中、従来の福祉制度でなく、近隣での目配りや気遣いなど地域での支え合いが益々重要になることを明記しており、地域福祉計画・地域福祉活動計画を柱とした事業運営を推進して行く。

令和元年度山都町社会福祉協議会 事業実施報告もくじ

項 目		ページ
	総 論	1
1	会務の運営	3
2	監 査	5
3	地区福社会活動	5
4	地域福祉諸事業	1 2
5	ボランティア活動推進	2 3
6	人材育成	2 4
7	子育て支援	2 5
8	広報活動	2 7
9	関係機関・団体との連絡・協調	2 7
1 0	会費・寄付金・日本赤十字社資・赤い羽根 共同募金納入実績	2 8
1 1	各種事業実績	3 0
1 2	その他	3 3

1. 会務の運営

理事会及び評議員会

【理事会】

日 時	議 案 内 容
令和元年度 第1回 社協理事会 令和元年5月23日(木) 午後1時30分 於：清和保健センター	①平成30年度社協法人会計補正予算第4号(案)承認について ②令和元年度社協法人会計補正予算第1号(案)承認について ③平成30年度社協事業報告並びに法人会計決算報告承認について (監事監査報告) ④定時評議員会の開催日時及び議案の決定について ⑤定款一部変更について ⑥その他 社会福祉法人指導監査結果及び改善結果報告について
令和元年度 第2回 社協理事会 令和元年6月6日(木) 午後4時 於：清和保健センター	①第1号議案 会長及び副会長選任について ②第2号議案 業務執行理事選任について ③第3号議案 契約担当理事選任について ④その他
令和元年度 第3回 社協理事会 令和元年12月3日(火) 午後3時 於：蘇陽支所 土地利用調整室	①令和元年度法人会計補正予算第2号承認について ②令和2年度山都町地域支援事業及び施設管理委託料並びに 事務局補助金予算要求について ③令和元年度第2回評議員会の開催日時及び議案等の決定について ④諸規程一部改正について ⑤その他 法人運営現況報告 第一・三半期定期監査報告について ほか
令和元年度 第4回 社協理事会 令和2年3月19日(木) 午後3時 於：蘇陽支所土地利用調整室	①令和元年度法人会計補正予算第3号承認について ②令和2年度山都町社会福祉協議会事業計画並びに法人会計予算(案) 承認について ③令和元年度第3回評議員会の開催日時及び開催場所、議案等の決定について ④定款一部変更及び諸規程一部改正について ⑤その他 第2・三半期定期監査報告について 令和2年度山都町地域支援事業及び施設管理委託料 並びに事務局補助金予算内示について ほか

【評議員会】

日 時	議 案 内 容
令和元年度 第1回 社協評議員会 令和元年6月6日(木) 午後1時30分 於：清和保健センター	①平成30年度社協法人会計補正予算第4号承認について ②令和元年度社協法人会計補正予算第1号承認について ③平成30年度事業報告並びに社協法人会計決算報告承認について (監事監査報告) ④定款一部変更について ⑤理事・監事の選任について ⑥社会福祉法人指導監査結果及び改善結果報告について

<p>令和元年度 第2回 社協評議員会 令和元年 12 月 11 日（水） 午後 2 時 於：清和保健センター</p>	<p>①令和元年度法人会計補正予算第2号承認について ②令和2年度山都町地域支援事業及び施設管理委託料並びに事務局補助金予算要求について ③理事の選任について ④法人運営現況報告 第1・三半期定期監査報告について ほか</p>
<p>令和元年度 第3回 社協評議員会 令和2年3月26日（木） 午前 10 時 於：蘇陽支所 土地利用調整室</p>	<p>①令和元年度法人会計補正予算第3号承認について ②令和2年度山都町社協事業計画並びに法人会計予算（案）承認について ③定款変更について ④その他 第2・三半期定期監査報告について 令和2年度 山都町地域支援事業及び施設管理委託料並びに事務局補助金予算内示について ほか</p>

* 役職員研修

（第1回）

日時 令和元年6月21日（金）午後1時30分から

場所 清和保健センター

内容 社協概要説明（13：35）

研修 ①講話 山都町の地域福祉について

講師 （有）ひとちいき計画ネットワーク

代表取締役 佐伯 謙介 氏

②ワークショップ

③現地視察（15：20）清楽苑→小峰僻地保育所→

矢部支部→大久保住宅→柏住宅→蘇陽支部

（第2回）

日時 令和元年9月13日（金）午後3時から

場所 矢部保健福祉センター千寿苑

内容 事業経過報告

次年度事業・予算要求について

理事担当分野について

意見交換

（第3回）

日時 令和元年10月16日（水）

場所 蘇陽支所

内容 次年度事業について

予算について

組織体制について

インターネットバンキングについて説明会（3金融機関から）

（トップセミナー参加）

日時 令和元年7月11日（木）13時～

場所 くまもと県民交流館パレア

内容 講演 社協における地域福祉を推進するための財源確保
講師 福岡市社協 地域福祉部 地域福祉課事業開発係長

日 時 令和2年3月11日(水)(コロナ感染拡大防止の為中止)
会 場 熊本県立劇場
内 容 地域福祉推進フォーラム

2. 監 査

* 社協監事決算監査

社協監事による定期監査の実施

①平成30年度第3・第三半期(12月～3月)並びに
決算監査の実施について

日 時 令和元年5月13日(月)9時～

令和元年5月14日(火)9時～

場 所 山都町社会福祉協議会・本部会議室

②令和元年度第1・第三半期(4月～7月)定期監査の実施

日 時 令和元年9月20日(金)9時～

場 所 山都町社会福祉協議会・本部会議室

③令和元年度第2・第三半期(8月～11月)定期監査の実施について

日 時 令和2年2月25日(火)9時～

場 所 山都町社会福祉協議会・本部会議室

* 令和元年度財政援助団体等監査

山都町監査委員による財政援助団体に対する監査

日 時 令和元年6月18日(火)13時

場 所 社協本部会議室

* 経営アドバイザー巡回監査 毎月

3. 地区福祉会活動

* 山都町30地区福祉会会長研修会

日 時：令和元年5月10日(金)午後3時～午後5時

会 場：清和保健センター

内 容：①行政説明

「農作業で介護予防（エゴマ栽培）事業について」

山都町役場 高齢者支援係 係長 木野 千春氏

「生活支援体制整備事業について」

山都町役場 高齢者支援係 主事 春日 裕貴氏

②地域のお宝紹介

③講演「山都町の地域福祉について」

講師：（有）ひとちいき計画ネットワーク

代表取締役 佐伯 謙介氏

④意見交換会

*** 矢部地区福祉委員等研修会**

日 時：令和元年 6 月 11 日（火）午後 2 時～午後 4 時

場 所：矢部保健福祉センター千寿苑

内 容：講演「地域の支え合いについて」

講 師：特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター

地域支え合い推進プロジェクト 推進役・開発主査 橋本 泰典氏

参加者：72 名

*** お宝さがし講座**

日 時：令和元年 6 月 11 日（火）、12 日（水）

場 所：橋交流館、矢部保健福祉センター千寿苑、清流館

内 容：①講演「あるもの探しから始まる支え合いの地域づくり」

講 師：特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター

地域支え合い推進プロジェクト 推進役・開発主査 橋本 泰典氏

②ワークショップ

*** 清和地区福祉委員研修会**

日 時：令和元年 6 月 15 日（土）午前 10：00～12：00

場 所：清和山村基幹集落センター

内 容：1、関係団体・民間事業所等の見守り活動について

2、福祉委員の役割について

3、認知症サポーター養成講座

参加者：84 名

*** 山都町 30 地区福祉懇談会開催**

・清和地区

（内 容）

① 社協会費等の実績報告、お宝活動の紹介

② 防災福祉マップの更新・情報共有

③ 地域で続けていきたいこと

始めに役場からのお知らせとして、住民健診について、介護費用額と適正な介護保険利用について、公共交通維持とアンケートについて説明を行った。小峰・西木地区では、ひとちいきネットワークの佐伯謙介氏より、「山都町の地域福祉について」講演をいただきました。地域で見守りが必要な方、日頃何気なく集まっていることが見守りや支え合い活動に繋がっていること、地域で続けていきたい事を共有できた内容となった。

(出席者) 173 名

地域福祉を支える会会長・役員、福祉委員、区長、民生児童委員
自治振興区会長、老人クラブ会長、女性部長、消防団員、
社協理事・評議員、町議会議員、福祉係職員、社協職員

	期 日		支える会名	場 所	出席者数
1	7 月 2 日 (火)	18:30	清 和	清和基幹 集落センター	40
2	7 月 4 日 (木)	18:30	朝 日	川口公民会	26
2	7 月 9 日 (火)	18:30	清 北	朝日憩いの家	28
3	7 月 11 日 (木)	18:30	小 峰	元小峰公民館	29
4	7 月 16 日 (火)	18:30	西 木	木原谷公民館	21
5	7 月 17 日 (水)	13:30	緑 川	清流館	29

・矢部地区

(内 容)

① 地域の現状について

山都町の人口推計や各地区の高齢化率等を数字で示し、地域の現状について説明を行った。

② 今年の振り返り

昨年、それぞれの地区の体制や仕組みについて話し合ってもらった内容について振り返りを行い、地域での行事や集まり事等の出来ていることに着目し、それらが見守りや支え合いに繋がっていることをお伝えした。

③ 地域のつながりと支え合いについて (ワークショップ)

地域での集まり事やそれぞれが行っている活動を書き出してもらうことで出来ている事が見える化した。それらを継続し互いに繋がり続ける事、また、今出来ている事や地域との繋がり方を若い世代に伝える事の必要性についても共有することが出来た。

(出席者) 295 名

地区社協会長、地区社協役員、福祉委員、区長、民生児童委員、自治振興区会長、老人会会長、シルバーヘルパー代表、青少年健全育成委員、女性部代表、公民館支館長、地域部長、生活安全部会、体協長、自主防災、消防団、地域ボランティア、町担当職員、社協理事・評議員、役場職員、社協職員等

期 日		地区名	場 所	出席者数
7 月 22 日（月）	19:00	御岳東部	皆和	35
7 月 24 日（水）	19:00	御岳西部	入佐公民館	16
7 月 26 日（金）	19:00	下矢部東部	旧下矢部東部 小学校	15
7 月 29 日（月）	19:00	浜町 A	中央公民館	14
7 月 31 日（水）	19:00	中島西部	ふれあいセンター	24
8 月 2 日（金）	19:00	浜町 C	千寿苑	22
8 月 5 日（月）	19:00	下矢部西部	旧下矢部西部 小学校	12
8 月 7 日（水）	19:00	下名連石	憩いの家	22
8 月 9 日（金）	19:00	御所	旧 JA 名連川支所	26
8 月 19 日（月）	19:00	浜町 B	浜 B 地区公民館	14
8 月 21 日（水）	19:00	中島東部	水の田尾公民館	23
8 月 23 日（金）	19:00	中島南部	島木改善センター	17
8 月 26 日（月）	19:00	白糸第一	通潤交流館	26
8 月 28 日（水）	19:00	白糸第二	笈石公民館	14
8 月 30 日（金）	19:00	白糸第三	津留公民館	15

・蘇陽地区

(内容)

- ① 山都町の高齢化や人口の増減の様子を説明する。また、地域に出向いて取材した地域のお宝（社会資源）を紹介
- ② ・昨年地区懇談会で書き出してもらった地域の集まり事をマップ化
・地域の名人さんの書き出し
- ③ 小地域ごとの要援護者見守り台帳と福祉マップを活用して地域ごとに見守りの情報交換を行った。

(出席者) 219名

社協理事、評議員、自治振興区会長、区長、民生委員・児童委員、健康福祉部、女性部、老人クラブ役員、単位老人クラブ女性部、消防団、シルバーヘルパー

	期 日		校区名	場 所	出席者数
1	6 月 11 日 (火)	19:00	橘	橘交流館	30
2	6 月 18 日 (火)	19 : 00	二瀬本	二瀬本コミュニティセンター	20
3	6 月 20 日 (木)	19 : 00	大野	西部地区交流館	22
4	6 月 25 日 (火)	19 : 00	花上	花上多目的集会所	22
5	6 月 27 日 (木)	19 : 00	菅尾	菅尾コミュニティセンター	30
6	7 月 2 日 (火)	19 : 00	馬見原	馬見原公民館	27
7	7 月 4 日 (木)	19 : 00	長谷	長谷交流館	18
8	7 月 9 日 (火)	19 : 00	東竹原	東竹原老人憩いの家	25
9	7 月 11 日 (木)	19 : 00	上差尾	上差尾交流館	25

* 各支部活動

・清和地区地域福祉を支える会

① 会長会議

	日 付	時 間	場 所	内 容
1	5 月 10 日 (金)	14 : 00	清和保健センター	① 令和元年度活動助成金について ② 令和元年度事業について ③ 福祉委員研修会について ④ 地区別福祉懇談会について ⑤ 生きがいと健康づくり、支える会活動支援について ⑥ 清和地区代表会長選出
2	9 月 24 日 (火)	13 : 30	社協本部 相談室	① 日赤・社協会費収納状況、共同募金について ② 福祉委員研修会と地区別懇談会のまとめについて ③ 福祉まつりについて ④ 支える会活動支援について ⑤ 支える会福祉まつりについて
3	2 月 19 日 (水)	14 : 30	清和基幹 集落センター	① 社協会費、共同募金実績について ② 令和元年度事務費請求について ③ 令和 2 年度活動助成金について ④ 令和 2 度各事業について

② 各支える会福祉まつり開催

日 付	時 間	支える会名	場 所
10 月 20 日(日)	9:00	小峰	旧小峰小学校グラウンド・体育館
10 月 27 日(日)	10:00	西木	西緑川多目的集会所
10 月 20 日(日)	10:00	朝日	川口公民館
11 月 3 日(日)	9:30	清北	旧朝日小グラウンド 井無田公民館
10 月 26 日(土)	8:30	清和	清和文楽館広場 清和基幹集落センター
9 月 22 日(日)	11:30	緑川	清流館

・蘇陽自治振興区福祉会
①蘇陽地区福祉会会長会議

	日 付	時 間	場 所	内 容
1	5 月 10 日 (金)	14 : 00	清和保健 センター	① 年間行事日程説明 ② 代表者副代表者選出 ③ 社協年間行事について ④ 地区別懇談会について ⑤ 福祉団体助成金について
2	10 月 8 日 (火)	16:30	蘇陽支所 社協会議室	① 地区別福祉懇談会について ② 福祉まつりにについて
3	3 月 28 日 (金)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止		

・矢部地区社会福祉協議会
①会長会議

	日 付	時 間	場 所	内 容
1	5 月 10 日 (金)	14 : 00	清和保健 センター	① 令和元年度活動助成金について ② 地区別福祉懇談会について ③ 今後の主な会議や行事について ④ 自己紹介及び会長、副会長選出 ⑤ その他(生きがいと健康づくり事業)
2	6 月 26 日 (水)	19 : 00	矢部保健福祉 センター千寿苑	① 行政説明(はびねすポイント事業) ② 地区別福祉懇談会について ③ 各地区の取り組みについて
3	10 月 15 日 (火)	19 : 00	矢部保健福祉 センター千寿苑	① 地区別福祉懇談会振り返り ② 福祉まつりにについて ③ その他(非常食の紹介等)
4	3 月 6 日 (金)	新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止の為中止 ※事務連絡等については、文書郵送にて替える		

*** 地域福祉推進フォーラム**

期 日 令和 2 年 3 月 11 日 (水)

会 場 熊本県立劇場 コンサートホール

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止

4. 地域福祉諸事業

* 地域福祉活動推進

第1回 地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会

日 時 令和元年7月23日(火)14:00～
場 所 山都町役場本庁 2-2 会議室
内 容 委嘱状交付
① 地域福祉計画・地域福祉活動計画の概要について
② 今後のスケジュールについて
③ 意見交換
参加者 24名（委員13名、役場職員5名、職員6名）

第2回 地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会

日 時 令和2年1月16日(木)10:00～
場 所 山都町役場本庁 2-2 会議室
内 容 ①地域福祉計画・地域福祉活動計画について
②今後のスケジュールについて
④ 意見交換
参加者 23名（委員12名、役場職員5名、職員6名）

第3回 地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会

日 時 令和2年3月25日(水)14:00～
場 所 山都町役場本庁 2-2 会議室
新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

防災連携会議（福祉課、社会福祉協議会）

日 時 令和元年7月19日(金)10:00～
場 所 山都町役場本庁 3-1 会議室
内 容 山都町総務課防災係 危機管理感監 野口 勝弘氏
意見交換

* 地域支え合いセンター

令和元年度 地域支え合いセンター設置・運営事業 事業実績書

事業区分	事業実績
個別支援	<p>○活動実績数：述べ652回</p> <p>○訪問活動：再建・生活状況の把握</p> <p>○つなぎ活動：再建に向けた情報提供や関係機関や親族へのつなぎ</p> <p>○見守り活動：生活状況・健康状況など継続的見守り</p> <p>※コロナウイルス感染予防のため2月以降は、玄関先や電話での聞き取りを行った。</p> <p>・仮設に住み残った高齢者のみ世帯は、一区切りがついたという安堵感とともに、被災から4年が過ぎ年を重ねていることを実感される様子がうかがえ、町営住宅化した仮設住宅の新たな住人との関りにくさや空き部屋を寂しげに見つめている状況がある。</p> <p>・相談とまではいかずとも、生活相談支援員に家族の病気のことや介護の事、仕事もうまくいかない孫の心配の事、子どもの離婚の事などなどの話をする方が増えており、内容によっては、専門職へつなぐこともできた。このことは、これまでの訪問活動の中で信頼関係が成立してきていることを意味する。</p>
地域支援	<p>○活動実績数：述べ 65回、1161人</p> <p>○サロン活動の推進：既存のサロンの充実、新規サロン立ち上げ支援サロン交流会</p> <p>○サロン活動から得た情報による個別支援へのつなぎ</p> <p>※コロナウイルス感染予防の為年度末に計画されていた各地区の多くの催しものが中止になったため、個別支援にて様子伺いを行った。その中で、催しものが中止になったとしても、サロンのメンバー同士がお互いに声掛けができる体制があることを確認した。このことは、地域支え合いセンターが関わる中で常に地域の方に伝えてきた、サロンをすることが目的ではなくサロンがきっかけで互いに気にかけてあげることができる、地域の支え合いの関係性が生まれることを実証したことになり、地域支え合いセンターの活動の成果と言える。</p>
住まい再建関係との連携	<p>○住まい再建（修理含む）：手続きなどの情報提供 役場との連携による未手続者への通知 進まない事情の聞き取りや悩み相談対応</p> <p>・金銭面や家族内での話し合いが進まない、事態に向き合っておられない世帯やご本人が決めかねている等の理由で最終決断ができていない世帯への対応が困難であった。生活を共にしていない家族に対しては実情が通じがたく、加えて、子どもたちには迷惑をかけたくないという親の思いが、事実と食い違った情報となり、それぞれの決断の邪魔をすることもあった。又、もともと抱えていた問題が、熊本地震により浮彫になった世帯に対して、相談を重ねることで、問題解決に向け、他機関に繋ぐ等、丁寧に対応することができた。</p>

関係機関等との連携	<p>○連携会議：10回（5月から2月）内容：ケース検討、研修《介護予防事業、高齢者支援（食の支援）、困窮者自立支援事業、地域福祉権利擁護事業、後見人制度、山都町内社会福祉法人連絡会、発達障害者支援 防災》</p> <p>○担当会議：4月年度計画の具体的すすめ、3月年度まとめ（コロナウイルス感染予防の為町外関係者を入れた連携会議を中止し町内関係者のみで行った）他随時</p> <p>○熊本県支え合い支援事務所ヒアリング：5回</p> <p>連携会議を通し、被災者を取り巻く生活課題に対し支援をするうえで、各種制度や支援を理解することが、情報提供や助言が行いやすくなるということや、関係者との顔の見える関係の構築をはかれたことで、連携しやすい状態を作ることができてきた。</p> <p>○各種団体会議参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生・児童委員定例会：会議において情報提供・個別に情報収集 ・地区別福祉懇談会 ・30地区福祉会合同研修 ・福祉委員研修会 ・地域ケア会議 ・子育て会議 <p>○スタッフ会議・町との調整：随時</p>
研修・参加会議	<p>○主任研修 ○ブロック研修</p> <p>主任会議（3/6）・福祉フォーラム（3/11）（コロナウイルス感染予防のため中止）</p> <p>関係機関会議（3/17）コロナウイルス感染予防のため規模を縮小して開催。</p>

今後の取組・見直し方針

※ 今年度の事業実施上の課題及びそれらを踏まえた次年度以降の取組・見直し内容を記述すること。被災から4年が経つという事実、特に高齢者にとっては再建到達がゴールのような気分になりがちであるため、この後の暮らし方について前を向けるような支援が必要と考える。また、若い世代であっても、今回のようなコロナウイルス感染拡大という状況からの不況による生活設計が崩れてしまう世帯もないとは言いきれず、生活設計の立て直しが必要な世帯も出現する可能性が高い。サロン等の活動においては、活動を通して、より身近な単位での集いや、集いとまではいかない井戸端会議的なものが多いと感じている。特に、コロナウイルスによる集いの仕方の制限からくる状況に至った事態ではより必要性を感じる。次年度は、これまでかわりを持つことのできた人との関係性を閉ざすことなくいつでも相談対応の出来る状況を保ちながら、継続的な相談支援を行う。また、当時は自力で踏ん張ることができていた終結組の被災者に対しても、今後生きづらさを感じる状況へと変化する際、早い段階で敏感に情報把握ができるように、地域の見守り体制を充実させ、常時情報交換が取れる状態を持ち、地域の方と協力をしあいながら見守り・支え合いの支援をし続けることができるよう活動を継続する。そして、熊本地震をきっかけに連携を取れ始めた各関連機関とも連携体制を強化し、さらに連携先を広げるための活動を行い、制度と地域の力を組み合わせた支え合い活動ができるように取り組む。

* 高齢者の生きがいと健康づくり、サロン活動職員派遣

○地区社協、支える会、老人クラブ（蘇陽地区）で実施されている生きがいと健康づくり（町委託事業）や自主的に実施されているサロン活動に職員を派遣した。

事業名	社協支援回数	備 考
生きがいと健康づくり事業 地区社協、清和支える会、蘇陽老人クラブ)	5 1	
自主的サロン	1 3	手工芸品や食バザーを観光イベントや福祉まつりで出店し自主財源の確保に繋がった。
老人クラブ活動	8	
合計回数	7 2	

○レクリエーション道具の貸出

（スカットボール、ボーリング、大型ジェンガ、川畑式認知症パズル等）

（年間貸出状況）

レクリエーション道具種類	貸出回数
スカットボール	26
大型ジェンガ	10
川畑式認知症パズル	2
ボーリング	15
輪投げ	3
シャッフル&ゴルフセット	1
貸出し合計回数	57

* 生きがいサロン教室（蘇陽支部）

それぞれが地域のサロンや集まり事で役立てて頂く為の事業

日時	利用者	職員	備 考
4 月 11 日（木）	8	3	健康チェック 手工芸（こいのぼり）
5 月 16 日（木）	12	3	健康チェック 手工芸（ホルダーポットマットあみ物）
6 月 13 日（木）	11	3	健康チェック 手工芸（ホルダーポットマットあみ物）
7 月 11 日（木）	9	3	健康チェック 手工芸（ブローチ作り）
8 月 8 日（木）	10	3	健康チェック 手工芸（つまみ細工）
9 月 12 日（木）	8	3	健康チェック 手工芸（黒い軍手くまもん作り）
10 月 10 日（木）	12	2	健康チェック 手工芸（ばらの花作り）
11 月 15 日（木）	13	3	健康チェック 苑外活動（文化の森、通潤橋、鮎の瀬大橋）
12 月 12 日（木）	13	5	健康チェック 手工芸（お年玉袋）忘年会（カラオケ、踊り）
1 月 16 日（木）	11	2	健康チェック 手工芸（ぬり絵）
2 月 13 日（木）	10	3	健康チェック 手工芸（折り紙、おひな様作り）
3 月 26 日（木）	11 人	2	健康チェック 手工芸
合 計	128 人	35 人	

* 地域福祉総合支援事業（県補助事業）

事業名：「農作業で介護予防」高齢者の生きがいと健康づくり事業

事業の目的：高齢者が積極的に農作業に取り組み、その収穫物を年金以外の収益につなげる庭先集荷の体制づくりを構築し、高齢者の生きがいと健康づくりを支援することを目的とする。

事業実施期間平成 30 年度から平成 32 年度（単年度補助の 3 カ年事業）

県補助率 3 分の 2 町 3 分の 1

（経過）

平成 30 年度の行った老人クラブ会員へのアンケート調査(有効回答 869 通)で庭先集出荷に関心の高かった中島地区老人クラブ連合会で庭先集荷を実

施した。連合会内の6地区の老人クラブから28名の会員希望があげられた。準備を整え、8月から毎週月、水、金に集荷し道の駅「通潤」で販売を行った。

8月から2月までの半年間で、約76万円の販売額となった。

* 山都町生活サポートセンター運営

山都町生活サポートセンター事業

日常生活の中で、ゴミ出しや電球交換等のちょっとした生活課題や多種多様なニーズに応える事ができるよう住民同士の支え合い体制づくりを目的として山都町生活サポートセンターを立ち上げた。

協力会員：68名 相談件数1件

活動実績

活動内容	依頼会員	協力会員	活動回数	延べ活動時間
ゴミ出し、買い物	1	2	50	26
屋内清掃 (風呂、トイレ、ゴミ分別)	1	1	5	6
現金、郵便物渡し 服薬確認	1	1	52	52

* 生活支援

配食サービス運営の充実

配食数増加による調理業務負担が増していた為、町内各民間事業所に相談。清和の里事業所に調理業務を引き受けて頂き2月19日（水）より開始した。

食事制限のある弁当は社協、食事制限のない弁当は清和の里事業所にて調理を行う。配達業務については社協で行う。

※福祉課高齢者支援係と連携して事業にあたる。

* 視察研修受け入れ（受入支援）

○視察受け入れ

山都町社協概要、地区福祉会の活動について

- ・ 5月29日 上天草市第2層生活支援コーディネーター 白糸第一地区社協
- ・ 7月26日 上天草市 白糸第一地区社協
- ・ 10月24日 福岡県みやま市 下矢部地区社協

- ・ 10 月 30 日 菊池市隈府西部地区社協 中島西部地区社協
- ・ 11 月 22 日 甲佐町社協 白糸第一地区社協
- ・ 11 月 26 日 芦北町大野圏域連絡会常任委員 白糸第一地区社協

○地区社協独自視察研修支援

- ・ 11 月 18 日 下矢部西部地区社協が上天草市社協へ視察 16 名

視察先との調整 当日随行

* 福祉まつり（山都町福祉課との協働開催）

（目的）

福祉に関する積極的かつ総合的な普及活動の展開を通じ、各世代の方々に福祉に対する意識の向上と深化を促し、町総合計画にある「地域で支え合う福祉の実現」の形成に寄与することを目的とする。

開催日時：令和元年 11 月 21 日（土）

会 場：山都町役場蘇陽支所

主 催：福祉まつり実行委員会

参加者数：647 名

《実行委員会》2 回《福祉課・担当者会議》4 回 《部会会議》1 回

《福祉劇練習》5 回福祉会会長（午後 7 時から）

《準備・リハーサル》1 回

《内容》

○営農センター

オープニング（二瀬本保育園、馬見原保育園、菅尾保育園、小峰僻地保育園）

福祉劇（山都町 30 地区福祉会）

啓発映画（ケアニン）

警察音楽隊

キンキラ劇団

抽選会

ちんどんや（山都町ボランティア連絡協議会）

○保健・地域福祉センター

啓発映画（リメンバーミー）

昔遊び・矢部高校生ワークショップ

木製おもちゃの PR

動く環境教室（環境講話、ビーストラップ作り）

○エントランスホール

（手工芸販売団体）9 団体

趣味の会（馬見原女性の会）、大野ハッピー会、高畑四つ葉会、塩出サロン

清和さつき会、甲斐忠人（菅尾）、二瀬本ひまわり会、山風華、山都町老連矢部支部（女性部）

(食バザー団体) 8 団体

ちどり、東竹原自治振興区、山都町食生活改善推進協議会、大野ハッピーランチ会、清和の里、他力鮮魚店、長崎おもてなし倶楽部、桜舎

(フリーマーケット) 3 団体

菅尾地区女性部、ママ友の会 (ハンドメイド)、木原 (個人)

(啓発団体) 5 団体

矢部高校 (食農科)、薬剤師会、九州電力、熊本県警、自衛隊

(展示) 5 団体

男女共同参画懇話会、行政相談員、共同募金会、郡エコ協議会、熊本県警

(展示) 6 団体

地域づくりの木 (社協)、生きがいサロン教室、かかし (大久保サロン)

社福法人ほたる、地域福祉関係 (佐伯先生)、ケアセンターそよかぜ (社協)

* 福祉相談所開設

< 開設日 >

福祉相談 月曜から金曜日 (土、日、祝日を除く) 各支部職員にて対応

法律相談 12 回 毎月 1 回 第 3 木曜日 矢部→清和→蘇陽 巡回型

< 時 間 > 午前 10 時～午後 3 時

< 場 所 > 矢部支部 矢部保健福祉センター千寿苑内「相談室」
清和支部 山都町生活支援ハウス清楽苑内「相談室」
蘇陽支部 蘇陽支所内「会議室」

令和元年度 福祉・法律相談件数 . . . 97 件

福祉相談 44 件 (矢部 25 件、清和 6 件、13 件) 法律相談 53 件

* 法律相談所

相談内訳

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
相 談 事 項	生 計	年 金	職 業 生 業	住 宅	家 族	結 婚	離 婚	健 康 衛 生	医 療	精 神 衛 生	人 権 法 律	財 産	事 故	土 地 山 林	児 童 福 祉 母 子 保 障	心 身 障 害 児 (者)	母 子 ・ 父 子	相 続 遺 言	借 金 貸 金	そ の 他	合 計
合 計			5	1	2			1			1	18	2							23	53

* 地域福祉権利擁護事業 (日常生活自立支援事業)

< 目 的 >

認知症・知的障がい・精神障がいなどにより判断能力が不十分な方に

対し、福祉サービスの利用援助を行うことにより、地域において自立した生活が送れるよう支援を行う。

<内 容>

社会福祉協議会と利用者が契約を結び、利用者の希望にもとづいた援助を実施する。生活支援員による援助を受けた場合、1回あたりの利用料は900円。

今年度は2名の新規契約と3名の解約があり、3月末時点で13名が利用されている。

<清和支部>

契約者 3名(8月に1名解約：成年後見人選任)

相談援助件数 238件

・認知症高齢者	1名	年間援助件数	57件
・知的障がい者	3名	年間援助件数	168件
・精神障がい者		年間援助件数	2件

<矢部支部>

契約者 契約者 10名(5月に1名解約、9月に2名新規契約)

相談援助件数 878件

・認知症高齢者	3名	年間援助件数	243件
・知的障がい者	4名	年間援助件数	360件
・精神障がい者	2名	年間援助件数	263件
・その他	1名	年間相談件数	12件

<蘇陽支部>

契約者 なし(8月に1名解約：施設入所)

相談援助件数 4件

・その他	1名	年間援助件数	4件
------	----	--------	----

<生活支援員登録者数>

矢部地区	7名
蘇陽地区	6名
清和地区	3名
合 計	16名

生活支援員 年間支援件数 247件

・生活支援員研修会

現在活動されている方を対象に、日頃の活動の様子や情報交換、今後の活動に向けてなど意見交換を行いました。利用者の気持ちに寄り添うこと、担い手の必要性など今後の課題も見えた研修会となりました。

日時：令和元年11月20日(水)15：30～17：00

場所：清和基幹集落センター

内容：①地域福祉権利擁護事業の利用状況について
②意見交換会

参加者：15 名（生活支援員 6 名、職員 9 名）

* 預かりサービス事業

本会が受託運営する施設入居者等に対し、金銭管理に不安のある方が安心して自立した日常生活を送れるよう、通帳や印鑑、日常生活に必要な現金を本会金庫にて預かり、保全するための一連の援助を行う。

・ 契約者数 8 件

清和支部：生活支援ハウス清楽苑 5 件、在宅 1 件

蘇陽支部：大久保高齢者住宅 1 件、在宅 1 件

矢部支部：0 件

* 生活福祉資金貸付事業

貸付状況 9 件（令和 2 年 3 月末現在）

元 金	2,266,810 円
貸付利子	248,173 円
延滞利子	7,474,475 円
合計	9,989,458 円

償還状況 28 件（令和 2 年 3 月末現在） 1 件償還完了。

元 金	139,400 円
貸付利子	1,500 円
延滞利子	60,983 円
合計	201,883 円

地区別貸付件数（令和 2 年 3 月末現在）

清和地区	1 件
蘇陽地区	3 件
矢部地区	5 件
山都町合計	9 件

・ 償還指導・相談会実施

（矢部支部）

日 時 令和 2 年 2 月 5 日（水）13:15～14:10
場 所 矢部保健福祉センター 千寿苑
指導対象 3 件
出席者 借受人、担当民生委員、県・町社協職員

（清和支部）

日 時 令和 2 年 2 月 5 日（水）14:15～14:45

場 所 矢部保健福祉センター 千寿苑
指導対象 1 件
出席者 担当民生委員、県・町社協職員

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方への特例貸付
(緊急小口資金・総合支援資金)
令和 2 年 3 月 25 日(水)10:00 から受付開始
受付件数 緊急小口資金 1 件(令和 2 年 3 月 31 日現在)

* 生活困窮者自立支援事業

平成 27 年度 4 月から生活困窮者自立支援制度の実施にあたり、生活困窮者自立支援法の必須事業である「自立相談支援事業」については、熊本県社会福祉協議会が事業受託者として町村社協と連携のもと、自立相談支援機関及び総合相談窓口として様々な問題を抱える生活困窮者の相談・支援を担い対応した。

《相談件数 18 件》

- ・相談経路 町福祉課や民生委員、居宅介護支援事業所等からの情報や生活福祉資金貸付事業との連携

○生活困窮者等自立相談支援事業、支援調整会議

開催日：毎月開催

(3 月については、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止)

場 所：上益城地域振興局（御船町）

内 容：具体的案件について協議、現況及び困難ケース等報告

○他機関等とのケース検討会議 8 回

【関係機関等】

福祉事務所、町福祉課（生保、障害、高齢者などの担当部署）、医療機関、居宅介護支援事業所、介護保険サービス事業所、家計改善相談室、子どもの学習支援担当者、学校・教育関係、民生児童委員 等

(他機関・他職種との連携を必要とした事例)

- ・世帯主 63 歳男性、妻 61 歳（身体障がい）
妻の介護保険サービスの利用料が滞納状態となっており、年金もローンの返済に充てられていたり適切に使われていなかったケース。
妻の介護保険サービス提供事業所や町福祉課（福祉係、高齢者支援係）、家計改善相談室（グリーンコープ）とケース検討会議を持ち、この世帯への支援の方向性について話し合いを行った。妻の金銭管理とサービス利用料の支払いについては、地域福祉権利擁護事業にて対応することとなった。世帯の家計状況や自営業での収支状況については、引

き続き関係機関と連携し、改善に向けて働きかけを行っていく。

* 介護機器等貸付事業

寄贈を受けた車椅子やベッド等の介護機器の貸し出しを無償で行ない、少しでも長く在宅で過ごしていただくために、多くの方へ利用していただいた。熊本県地域支え合いセンター支援事務所を通して車椅子用スロープの寄贈を頂いた。

《介護機器貸出し状況》

(44 件)

	車椅子	車椅子用 スロープ	ポータブル トイレ	ベッド	歩行補助 用具	入浴補助 用具
清和	6	2	5	2	6	1
矢部	17	0	1	2	0	0
蘇陽	1	0	0	1	0	0
合計	24	2	6	5	6	1

* 団体助成事業

町内で申請があった 30 地区福祉会、ボランティア団体、障がい者家族会等の団体に下記のとおり活動助成金の交付を行った。

39 団体 3,385,100 円

・ 30 地区福祉会

矢部 15 団体 1,513,100 円

清和 6 団体 538,400 円

蘇陽 9 団体 755,100 円

・ その他 9 団体 578,500 円

5. ボランティア活動推進

* 災害ボランティアセンターサポーターフォローアップ講座

日時：令和元年 12 月 5 日（木）午前 10 時～11 時 30 分

場所：清和基幹集落センター

内容①「災害発生時のゴミ出しについて」

山都町役場 環境衛生課 岩崎 啓司 氏

②「防災への備え(仮)」

山都町役場 総務課 防災係 危機管理監 野口 勝広氏

③防災用品の紹介

④質疑応答

* ボランティア連絡協議会「ゆいの会」活動支援

・ 総会

日 時 平成 31 年 4 月 22 日(月) 午後 1 時 30 分～

場 所 矢部保健福祉センター千寿苑

参加者 33 名

講演会 山都町矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治氏

* 第 12 回火の国ボランティアフェスティバル『山鹿市』

日 時 令和元年 10 月 26 日(土)

場 所 山鹿市あんずの丘多目的体育館グリーンパレス

参加者 42 名

* ボランティア推進校への助成事業

山都町社会福祉協議会 独自助成事業

・ 助成内容・・・1 校あたり 30,000 円の活動助成

助成校 10 校 300,000 円

・ 清和地区 2 校 清和小 清和中

・ 矢部地区 5 校 矢部小 潤徳小 中島小 矢部中 矢部高

・ 蘇陽地区 3 校 蘇陽小 蘇陽南小 蘇陽中

担当者情報交換会

日 時 令和 2 年 2 月 20 日(木) 午後 4 時～午後 5 時

場 所 清和保健センター

内 容 ①各学校の取り組みについて(清和小学校・矢部高等学校)

②地域のお宝人材紹介

③意見交換・情報交換会

事前にアンケートを実施し、各学校の取り組みを知りたいという意見が多数あり、今年度は清和小学校と矢部高等学校より取り組みを紹介いただいた。社協から取材を進めている地域のお宝人材を紹介し、今後こういった情報を教えて頂きたいというご意見を頂いた。

参加者 16 名(ボランティア担当教諭 8 名、学校教育課 1 名、職員 7 名)

6. 人材育成

* 福祉体験学習

清和中学校より総合的な学習の時間において社会福祉についての体験学習の依頼があり、地域包括支援センター、社会福祉施設の協力を得て12人の生徒の体験学習を受け入れた。

清和中学校3年生 12名

事前学習 日 時 令和元年6月28日(金)

場 所 清和中学校 音楽室

内 容 ①認知症サポーター養成講座
②清和地区の地域福祉について
③体験学習に向けて

体験学習 日 時 令和元年7月4日(木)、5日(金)

場 所 通所介護事業所 3名

訪問介護事業所 2名

生活支援ハウス清楽苑 2名

グループホーム緑仙館 3名

明星学園小峰福祉センター 2名

内 容 各施設において利用者の方との交流、入浴や食事、レクリエーション等の介護体験

* 高齢者体験及び車いす体験

日 時 令和元年10月17日(木)

場 所 潤徳小学校 体育館

内 容 ①高齢者疑似体験
②車いす体験

* 福祉施設視察

目的 矢部保健福祉センター千寿苑の役割と建物の工夫を知る
矢部小学校3年生

日 時 令和元年7月12日(金)

場 所 矢部保健福祉センター千寿苑

7. 子育て支援

少子・高齢化の進展、核家族、共働き世帯の増加や雇用形態の変化などにより子育てをめぐる問題も多様化している。子供達が健全に育ち保護者が安心して働ける一助となるよう子育て家族の支援事業を展開した。

* 子育て担当者会議

山都町の子育てについて情報共有するとともに各関係部門からの関

わりを研究する。生活困窮者自立支援事業等地域課題と子育ての関連について提起し今後の子育て世代の支援の有り方を各関係機関が連携して検討する必要性を感じた。

実施日：平成 31 年 4 月 22 日、10 月 8 日、12 月 17 日、2 月 28 日

*** 子供デイサービス**

夏休み子供デイサービスについては、各学校単位で保護者により運営されている学童保育の充実と、学童保育を利用しない児童に対する体験の場の提供、地域の方々との交流の場の提供を目的に、企画・事業展開した。清和支部では 3 日間、蘇陽支部では 2 日間の体験型として行った。

(清和支部)

○夏休み子どもデイサービス《体験型》

・実施日と内容

7 月 29 日(月)雑巾づくり・そうめん流し・矢部高校生木工教室

8 月 1 日(木)共同募金箱づくり・フラワーボトル作り(九州電力)

8 月 5 日(月)緑川緑寿会と防災バッククッキング、七夕飾り交流

・開催時間 午前 8 時 30 分～17 時 30 分

・場 所 清和保健センター

・参加者 1 年生～3 年生 延べ 35 名 (登録者 15 名)

・ボランティア協力者数 延べ人数 31 名

協力団体：清和ボランティアさつき会、清和退職者友の会、民生委員児童委員、緑川緑寿会、矢部高校生、清和中学校生徒

(蘇陽支部)

○夏休み子どもデイサービス (2 日間)

・実施日と内容

8 月 8 日 (火) 舟の口養魚場にて魚釣り

8 月 20 日 (火) B&G 海洋センタープール遊び、簡単に出来る工作

・開催時間 午前 10 時～17 時 00 分舟の口養魚場魚釣り

・参加者 蘇陽南小学校児童 36 名

蘇陽小学校児童 34 名

協力団体：学童保育指導員

*** へき地保育所事業**

2019 年度は年長児 4 名のスタート、6 月に未満児 1 名が途中入所したことで計 5 名の子供たちの成長発達のために保育業務を行った。少人数では

あったが、年長児のリードで様々な行事に取り組み、喧嘩もしながら自分の気持ちをしっかり言葉に表現し、伝え合う仲間づくりができていった。また、未満時への優しい接し方が成長を促してくれていた。

運動会では、これまで小峰保育所を卒園した小中学生や、へき地保育所OBの先生方も招待し、一緒に参加してもらい盛り上げていただき思い出に残るものとなった。夏にはお泊り保育を行い子供たち同士の絆づくりや心の成長がみられる行事となった。

秋には地域の祭りに神輿や踊りで参加し地域の方々と交流をはかり喜んでいただいた。また、小峰地域の老人会「清寿会」とは定例会での声掛けあいや、しめ縄づくり、さわやか交流祭りなどに参加してお年寄りとの交流を盛んに行った。こうしたことが発表会において多くの地域の方の参加につながり子供たちの頑張りを認めていただく機会となった。

年間を通して、清和地区の保・小・中学校との連携会議等にも参加し、小学校1・2年生と大川保育園年長児との合同プール交流会や、秋探し等小学校生活への不安が少ないように連携活動にも取り組んできた。

秋から冬にかけて、地域の方々を中心に小峰保育所閉所実行委員会が立ち上げられ、要項や記念品、記念樹等について検討され山都町最後のへき地保育所閉所式を盛大に行うために準備にあたられていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者と子供たち、職員のみで参加者で3月15日に最後の卒園式と閉所式となった。昭和38年に開所し56年間で559人の卒園児を送り出した小峰保育所。最後は涙の中にも喜びの光あふれる子供たちと一緒に幕を閉じた。

8. 広報活動

* 社協機関紙「かたくり」の発行

社協職員の広報委員が、数日間編集委員会を重ねて、今年度は3回機関紙を発行した。

(発行月) 6月・10月・2月の3回発行。

(広報やまと) 社協への寄付者名(香典返し・お見舞い返し等)を掲載

* 山都町社協ホームページの更新

9. 関係機関・団体との連絡・協調

* 心身障がい者支援

- ・地域活動支援センター「上益城きぼうの家」支援
「きぼうの家」へ通所者の無料送迎実施。
- ・地域活動支援センター「エッグス」への協力
- ・明星学園イベント後援
- ・身体障がい者福祉協会への協力

・障がい者家族会活動支援

*** 民生委員・児童委員協議会**

民児協の全体会・支部定例会・研修会等に参加し、相互の連携を図る。

*** 老人クラブ連合会**

連合会・各支部で開催の会議・大会等に参加。地区社協活動等を通じ、会員との連携を図った。

単老

シルバーヘルパー養成講座 講師協力

生き生き老人スポーツ大会手伝い（蘇陽支部）

芸能大会手伝い（蘇陽支部）

10. 会費・寄付金・日本赤十字会費・赤い羽根共同募金納入実績

町内の区長・組長・世話係・福祉委員・婦人会等にご理解とご協力を求め徴収依頼。活動の財源確保に努めている。

*** 社協会費**

（前年度実績含む）

項 目	件 数	金 額
一般会費	4, 6 4 0	4, 6 3 2, 5 0 0
特別会費	1 3 3	1, 3 3 0, 0 0 0
合 計	4, 7 7 3	5, 9 6 2, 5 0 0

*** 寄付金**

項 目	件 数	金 額
一般寄付	1 5	1 1 7, 6 9 4
御見舞返し	2	4 0, 0 0 0
香典返し	1 4 3	2, 4 9 0, 0 0 0
合 計	1 6 0	2, 6 4 7, 6 9 4

*** 日本赤十字社会員会費**

項 目	件 数	金 額
一般会費及び寄付金	4, 6 7 7	2, 3 3 9, 5 0 1
特別会費	1	1 0, 0 0 0
法人会費	6	5 7, 2 0 2
合 計	4, 6 8 4	2, 4 0 6, 7 0 3

* 赤い羽根共同募金

項 目	件 数	金 額
戸別募金	4, 5 4 1	2, 0 5 7, 6 0 0
法人募金	1 9	1 5 8, 0 0 0
学校募金	8	3 9, 6 2 1
職域募金	1 2	1 1 7, 2 2 0
イベント募金	1	3, 5 5 7
個人募金	2	6 3 2
その他の募金	2 6	3 0 3, 7 1 4
合 計	4, 6 0 9	2, 6 8 0, 3 4 4

* 日赤救援物資 配布状況

【清和支部】

配布日	配布先	物 資 名					
		毛布	下着 セット	ビニール シート	日用品 セット	タオル ケット	タオル
	年間配布数	0	0	0	0	0	0
3/31	備蓄状況	20	7	36	7	20	60

【矢部支部】

配布日	配布先	物 資 名					
		毛布	下着 セット	ビニール シート	日用品 セット	タオル ケット	タオル
	年間配布数	0	0	1	1	0	10
3/31	備蓄状況	16	13	11	8	15	165

【蘇陽支部】

配布日	配布先	物 資 名					
		毛布	下着 セット	ビニール シート	日用品 セット	タオル ケット	タオル
	年間配付数	0	0	0	0	0	0
3/31	備蓄状況	17	8	72	4	13	46

1 1. 各種事業実績

* 矢部保健福祉センター千寿苑の運営 会場使用料集計

会 場	利用回数 (回)	利用人数 (人)	利用料金 (円)	免除 対象 (回)	保健 社協関係
多目的ホール	165	12,096	190,810	116	7
ボランティア研修室	263	4,045	177,528	120	18
ボランティア室(半)	13	83	6,662	1	0
ボ) 研修室(半)	3	12	0	0	3
福祉相談室	89	419	13,685	16	67
教養娯楽室	82	774	37,554	27	9
会議視聴覚室	47	564	1,254	23	23
生活指導室	61	921	12,022	47	8
栄養指導室	29	419	23,986	17	6
保健相談室	5	72	0	3	2
集団健診室	86	6,731	0	25	61
研修室	0	0	0	0	0
合 計	843	26,136	463,501	395	204
旧浴室(1)筋トレ室	(月・木)91	372	0	91	0
令和元年10月1日消費税8%から10%に改正					

令和元年度 介護保険事業収入一覧表

介護保険	4月(5月審査)		5月(6月審査)		6月(7月審査)		7月(8月審査)		8月(9月審査)		9月(10月審査)		10月(11月審査)		11月(12月審査)		12月(1月審査)		1月(2月審査)		2月(3月審査)		3月(4月審査)		合 計	
訪問介護	37	1,287,490	41	1,406,420	44	1,437,847	37	1,329,900	41	1,339,857	46	1,508,440	45	1,355,090	44	1,222,710	45	1,334,890	49	1,399,970	49	1,283,030	46	1,358,010	524	16,263,654
清和	13	291,910	12	256,940	12	270,210	13	291,910	16	291,647	16	316,910	15	314,880	16	337,720	18	382,710	20	415,580	18	353,890	16	340,850	185	3,865,157
蘇陽	16	463,110	22	676,830	22	668,220	16	529,390	17	571,790	22	700,800	21	660,350	20	494,040	18	438,160	21	458,190	23	426,230	22	489,410	240	6,576,520
矢部	8	532,470	7	472,650	10	499,417	8	508,600	8	476,420	8	490,730	9	379,860	8	390,950	9	514,020	8	526,200	8	502,910	8	527,750	99	5,821,977
通所〔やまと〕	54	4,266,640	51	4,629,100	49	4,035,353	51	4,588,570	51	4,005,350	49	3,949,110	51	4,674,020	51	4,595,350	51	4,513,430	50	4,135,180	52	4,031,490	47	4,152,830	607	51,576,423
通所〔そよかぜ〕	30	2,326,870	33	2,389,800	37	2,214,940	36	2,612,450	34	2,318,510	35	2,268,420	34	2,557,570	38	2,624,910	37	2,454,970	36	2,386,530	34	2,296,550	33	2,420,460	417	28,871,980
居 宅	163	2,157,830	174	2,288,040	166	2,186,300	166	2,186,040	164	2,158,080	166	2,192,660	166	2,204,740	170	2,249,110	174	2,309,130	171	2,248,080	167	2,187,920	157	2,046,430	2,004	26,414,360
合 計	284	10,038,830	299	10,713,360	296	9,874,440	290	10,716,960	290	9,821,797	296	9,918,630	296	10,791,420	303	10,692,080	307	10,612,420	306	10,169,760	302	9,798,990	283	9,977,730	3,552	123,126,417

総合事業	4月(5月審査)	5月(6月審査)	6月(7月審査)	7月(8月審査)	8月(9月審査)	9月(10月審査)	10月(11月審査)	11月(12月審査)	12月(1月審査)	1月(2月審査)	2月(3月審査)	3月(4月審査)	小 計													
訪問介護(独立/定率)	30	533,480	29	542,240	31	553,750	28	527,470	28	527,470	30	495,180	31	564,470	31	554,830	32	524,210	30	469,070	30	463,400	31	536,230	361	6,291,800
清和	10	186,880	10	192,720	9	178,120	8	151,840	9	166,440	10	154,760	10	151,840	8	139,280	8	116,800	7	96,360	7	81,760	7	87,600	103	1,704,400
蘇陽	14	233,600	13	230,680	15	248,200	14	254,040	13	239,440	15	245,280	15	291,040	16	285,200	18	319,810	17	256,960	16	256,960	17	324,120	183	3,185,330
矢部	6	113,000	6	118,840	7	127,430	6	121,590	6	121,590	5	95,140	6	121,590	7	130,350	6	87,600	6	115,750	7	124,680	7	124,510	75	1,402,070
通所〔やまと〕(独立/定率)	16	466,740	19	486,360	19	491,580	21	562,860	21	515,160	21	523,980	20	509,940	19	457,560	18	421,200	19	399,240	18	372,240	20	438,984	231	5,645,844
通所型(独立/定率)	13	419,940	16	439,560	16	444,780	18	530,100	18	468,360	18	477,180	17	463,140	16	406,080	15	379,080	16	361,800	15	330,120	17	401,544	195	5,121,684
通所型(事業対象者)	3	46,800	3	46,800	3	46,800	3	32,760	3	46,800	3	46,800	3	46,800	3	51,480	3	42,120	3	37,440	3	42,120	3	37,440	36	524,160
通所〔そよかぜ〕(独立/定率)	14	355,680	14	342,720	14	333,360	14	382,140	15	422,640	15	405,180	15	414,360	15	405,180	16	458,820	16	415,080	17	427,320	16	441,360	181	4,803,840
通所型(独立/定率)	14	355,680	14	342,720	14	333,360	14	382,140	15	422,640	15	405,180	15	414,360	15	405,180	16	458,820	16	415,080	17	427,320	16	441,360	181	4,803,840
小 計	60	1,355,900	62	1,371,320	64	1,378,690	63	1,472,470	64	1,465,270	66	1,424,340	66	1,488,770	65	1,417,570	66	1,404,230	65	1,283,390	65	1,262,960	67	1,416,574	773	16,741,484

支援総合事業	4月(5月審査)	5月(6月審査)	6月(7月審査)	7月(8月審査)	8月(9月審査)	9月(10月審査)	10月(11月審査)	11月(12月審査)	12月(1月審査)	1月(2月審査)	2月(3月審査)	3月(4月審査)	合 計													
支援総合事業	20	89,000	19	81,700	19	84,700	20	89,000	20	86,000	20	86,000	22	100,820	20	86,200	19	84,890	22	97,820	20	86,200	20	86,200	241	1,058,530
支援総合事業委託	3	12,900	5	21,500	6	28,800	6	25,800	5	21,500	5	21,500	5	21,550	6	28,860	6	28,860	5	21,550	5	21,550	3	21,550	60	275,920
居宅合計	23	101,900	24	103,200	25	113,500	26	114,800	25	107,500	25	107,500	27	122,370	26	115,060	25	113,750	27	119,370	25	107,750	23	107,750	301	1,334,450

介護+総合+原案	4月(5月審査)		5月(6月審査)		6月(7月審査)		7月(8月審査)		8月(9月審査)		9月(10月審査)		10月(11月審査)		11月(12月審査)		12月(1月審査)		1月(2月審査)		2月(3月審査)		3月(4月審査)		合 計	
総合計	367	11,496,630	385	12,187,880	385	11,366,630	379	12,304,230	379	11,394,567	387	11,450,470	389	12,402,560	394	12,224,710	398	12,130,400	398	11,572,520	392	11,169,700	373	11,502,054	4,626	141,202,351

地域支援事業・障害者総合支援事業

(平成31年4月～令和2年3月まで)

			障害者自立支援事業					
	食の宅配 サービス事業		移動支援事業				居宅介護事業	
			きぼうの家		個別支援			
	人数	回数	回数	時間	人数	時間	人数	時間
4月	40	563	8	16.5	0	0.0	11	173.0
5月	39	548	8	16.0	0	0.0	11	192.0
6月	40	532	7	13.0	0	0.0	11	180.5
7月	39	548	9	18.0	0	0.0	11	176.5
8月	36	499	6	12.0	0	0.0	11	184.0
9月	39	524	8	16.0	0	0.0	11	168.5
10月	42	532	9	18.0	0	0.0	13	161.5
11月	42	573	7	14.0	0	0.0	12	142.5
12月	43	533	8	16.0	0	0.0	13	192.5
1月	40	489	8	16.5	0	0.0	12	80.0
2月	37	484	6	12.0	0	0.0	12	178.5
3月	34	386	9	18.5	0	0.0	11	102.5
	471	6,211	93	186.5	0	0.0	139	1932.0

1 2. その他

* 社協管理 住宅入居状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

清和支部

	部屋総数	定員数	入居者数
生活支援ハウス 清楽苑	16	18	11

蘇陽支部

	部屋総数	定員数	入居者数
大久保高齢者住宅	7	9	6

* 職員研修会

日 時：令和元年 9 月 30 日（月） 午後 5 時 30 分

場 所：清和本部デイホール

内 容：防災研修会

講 師：山都町役場 総務課 防災係 危機管理監 野口 勝広氏

参加者：職員約 40 名程度

日 時：令和 2 年 2 月 26 日（水） 午後 5 時 30 分

場 所：清和本部デイホール

内 容：保健・医療・福祉サポートサイトフォローアップ研修
（感染症の基礎知識）

参加者：職員 43 名

* 令和元年度職員資格取得状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

	取得人数	現在在籍数
社会福祉士	0 名	（ 4 名）
介護福祉士	0 名	（30 名）
介護支援専門員	0 名	（14 名）
認知症ケア専門士	0 名	（ 1 名）